



たに もと ち ほ  
**谷本千保さん**  
豊中市立庄内南小学校教諭

三木市出身。平成13(2001)年小学校教員となり、16(2004)年から大阪府豊中市の小学校に勤務。21(2009)年から2年間は、大学院専門職学位課程心の教育実践コースで学ぶ。今年度は豊中市立庄内南小学校で3年生の担任を務めている。



→教室ではあちらこちらから「わからん」「せんせー来て〜」などと声が掛かります

## 大学院での学びを生かしながら 子どもの心の声に耳を傾けます

**教員**になって12年、今年度ほど「わからん」という言葉を聞いたことはありませんでした。この言葉から、子どもたちの心に課題がひそんでいることに気付かされました。

「わからん」と言われると、問題が難しいのかな、説明が足りなかったのかな、やる気が出ないのかなと、指導方法を工夫しようと思います。でも、ほとんどの「わからん」は、その子のそばに寄り添うだけで解決しました。生活面に課題を抱える子ども

の多くは、自分だけに目を向けようとするのではなく、さまざまな経験から多くのことを学びました。教職に就いてからも、昨年度は明石市の2年目研修講座で、今年度は明石市の社会科担当者会で授業をさせていただき、多くの収穫を得ました。クラスの子どもたちにも「失敗してもいいから、まずやってみることが大切」と、事あるごとに伝えていきます。まだまだ完全には浸透していませんが、自分も子どもたちも、常に挑戦し続ける努力をしていきたいと思っています。



つつ い こう すけ  
**筒井幸介さん**  
明石市立大久保南小学校教諭

明石市出身。平成22(2010)年、学校教育学部社会系コースを卒業し、現任校に着任。今年度は4年生を担当している。



→授業でも子どもたちのチャレンジする意欲を引き出したいです

## 子どもたちに伝えていきたい 何事もまずはチャレンジ!

**兵** 教大を卒業してもうすぐ3年がたちます。教員になってあらためて実感するのは「何でもやってみることの大切さ」です。

私は兵教大での4年間、クラス幹事に始まり、学祭実行委員、NANAつくす子どもフェスタの委員、学生代表、学生寄宿舎の棟長と数々の役をさせていただきました。正直なところ、「なんで自分がこんなことせなあかんねん」と思ったことも多々ありましたが、計画を立てたり、人前で話をした

りするなど、さまざまな経験から多くのことを学びました。教職に就いてからも、昨年度は明石市の2年目研修講座で、今年度は明石市の社会科担当者会で授業をさせていただき、多くの収穫を得ました。クラスの子どもたちにも「失敗してもいいから、まずやってみることが大切」と、事あるごとに伝えていきます。まだまだ完全には浸透していませんが、自分も子どもたちも、常に挑戦し続ける努力をしていきたいと思っています。

### ▶ 同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

#### 大学教員と大学院同窓会員との共同研究の申請

大学院修了生が大学教員と共同で取り組む研究の中から、特に学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展に役立つものを選び、研究経費の一部を補助します。平成24(2012)年度は11件を採択しました。

◎申請締め切り 4月30日◎まで

応募方法など詳細はHyokyo-netをご覧ください

#### 教育実践研究活動等に係る表彰者の推薦

大学院同窓会では教育実践研究に顕著な成果を挙げた修了生を表彰しています。今年度も表彰にふさわしい修了生の推薦を受け付けています。今年8月の同窓会九州大会(福岡県)で表彰式を行い、学長・同窓会長連名の表彰状を授与します。

◎推薦締め切り 3月31日◎まで